

全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

「－ボクシング競技における対応策－」(第2版)

安全対策／実施計画



ボクシング競技

公益財団法人 全国高等学校体育連盟 ボクシング専門部

目次

1. 全般的な事項
2. 会場準備・運営に関する対策
3. 参加受付時、健診・計量時の対応
4. 競技会参加者への対応
5. 選手がウォームアップを行う際の留意点
6. 試合を行う際の留意点
7. 参加前後の留意事項・感染者の対応について
8. その他

1. 全般的な事項

- 開催地域で感染者が激増した場合の中止の判断
- 大会申込時に※4大会来場者一覧の提出
- 大会参加者は全員、大会前2週間～競技期間中の※1健康チェックシートの作成
- 毎日の※2健康チェックシート提出用紙(参加承諾書確認含む) (学校・団体単位) 提出
- 大会来場初日に※3参加承諾書(参加者全員)の提出
- オンライン (HP・LINE オープンチャット) を使用した情報共有の整備 (会議情報・変更情報・トーナメント表・結果等)
- 参加者各自によるマスク・タオル・ビニール手袋の準備
- ※7行動記録書の作成 (感染が確認された場合に提出)

2. 会場準備・運営に関する対策

- 大会会場内に医師の配置
- ※5マスク着用・ソーシャルディスタンス指示イラストの掲示
- 会場内に消毒ポンプ・手洗場に液体石鹸の設置
- 会場内一方通行の導入

- 一般用のゴミ箱の設置は行わずに原則各自で持ち帰りとする。競技運営上出るゴミは指定場所に捨て、きつく結んで廃棄
- 場内に対戦表・トーナメントボード等人が密集する可能性のある掲示物は掲示しない（対戦表・トーナメント等はHP・LINEを通じて配信）
- 観覧席・会議席・待機席は約2メートル間隔（最低1m）で椅子を配置
- 空調の利用や窓の開放により換気を行う。また、大型扇風機等を活用して会場内の換気効率を高める。
- 開会式・閉会式・インテグリティ研修など、必要最小限の人数で、密を避けたレイアウト設定のもと行う。

3. 当日参加受付時、健診・計量時の対応

- 健診・計量セッション制導入（セッション制集合時間を事前通知）
- 各種提出用紙の提出・検温受付後の目印を作成（IDカード、※6リストバンドにシール）
- 健診・計量のディスタンスの確保、検温・血圧脈拍測定等の長机で測定者同士との間隔をあける。
- ドクター診察時、ドクターはマスク、ビニール手袋を着用する。
- 非接触型の体温計の使用・口腔内の診察省略

4. 競技会参加者への対応

- 選手、引率、役員、競技会場を訪れる関係者に、十分なマスクやタオルやビニール手袋の準備を指示
- 入場者の受付での全員検温（サーモカメラ、非接触型体温計）、手指消毒の徹底

- 出場選手は参加承諾書※3 を各学校・団体の代表者に提出し、代表者は参加初日に全員分の参加承諾書を運営本部に提出する。
- 大会参加期間中は、各学校・団体の代表者は※2健康チェックシート提出用紙（参加承諾書確認含む）を毎日受付で提出すること。
- 各学校・団体の代表者は全員分の大会前2週間～競技期間中の※1健康チェックシートを競技終了後最低1ヶ月は保管すること。
- 競技中に大きな声での会話、応援等の自粛、拍手での応援の推奨

5. 選手がウォームアップを行う際の留意点

- ウォームアップ場の入場制限（入場受付・引率人数の制限）
- ウォームアップ場内ではソーシャルディスタンスを意識したウォームアップを心がける（対人練習の禁止）

6. 試合を行う際の留意点

- アップ会場入退場、競技間セッション制導入（進行状況をオンラインで通知）
- 競技中の競技者以外は全員マスクを着用
- リング各コーナー下にうがい用の水は置かない。グロービング室で支給された水を使用し、他選手との共有はしないようにする
- 水を飲むことは可能だが、感染対策上、うがい廃液処理が困難なため、うがいを禁止とする。

※口腔内の出血や歯牙の損傷が疑われる場合・マウスピースが床に落ちた場合等、特別な事情の場合は開催地が準備したバケツを貸し出す。

セカンドは責任をもって指定場所で廃水・洗浄・消毒を行い返却するようにする。

- 競技インターバル中にセカンドがタオルで送風することの禁止
- 競技終了後、対戦選手とセカンドの握手は自粛し、距離を確保した挨拶をする。
- グローブ・ヘッドガードなど選手が共有する用具は一試合ごとに消毒
- 各グローブ・ヘッドガードをどの選手が使用したか、使用記録を残す。
- セカンドは競技中、ビニール手袋を着用する。手袋の使用は一試合ごととし、ビニール袋に入れて密閉して廃棄する
- 試合またはセッションごとにコーナーポストおよびロープなどを消毒
- アナウンスマイク・ストップウォッチ・ゴング機材を担当者交代ごとに消毒

7. 参加前後の留意事項・感染者の対応について

1) 提出書類の保管について

- ①新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に備え、実行委員会は大会参加者が提出した書類を1ヶ月間保管しておく。
- ②大会参加者が大会終了後7日間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合、実行委員会は保管している※2健康チェックシート提出用紙及び申告書の情報提供を関係機関に対して行う。

2) 大会参加について

①出場チーム等の参加判断基準

- ・大会期間中にチーム内で感染者、濃厚接触者、感染疑い者（体調不調者）が出た場合にはチーム全体を出場禁止とする。
- ・大会参加日から参加2週間前までの期間に、チーム内で感染者が出た場合には、チーム内の参加者全員が薬剤を服用しない状態で参加3日前までに体調不調が解消し、かつPCR検査で陰性が判定されるまでチーム全体を出場禁止とする。
- ・大会参加日から参加1週間前までの期間に、チーム内で濃厚接触者、感染疑い者が出た場合には、チーム内の参加者全員が薬剤を服用しない状態で参加3日前までに体調不調が解消し、かつPCR検査で陰性が判定されるまでチーム全体を出場禁止とする。
- ・チームには出場登録選手、監督、コーチだけでなく、練習や宿舍、移動手段を一にする部員やマネージャー、その他関係者も含む。

- ・個人種目の場合には、宿舎・練習・移動などがすべて同一である範囲をチームとして判断する。
- ・非常事態宣言地域からの参加の可否については、当該地域の都道府県担当部局の判断に従うものとするが、会場地自治体に移動する選手、監督、コーチ、部員数は原則登録人数のみとすること。
- ・チーム内に1名以上の新型コロナウイルス感染症対策責任者（監督との兼務可）を置き、参加申し込みの際に開催地実行委員会に報告するとともに、全国高体連や開催地実行委員会、競技専門部との連絡調整およびチーム内での感染者対応や感染防止対策徹底の役割を担うこと。

②大会関係者の参加判断基準

- ・大会参加者とは、役員、補助員、報道機関、招待者、視察者、競技団体関係者、スポンサー、開催自治体関係者、出店者、観客等、来場する全ての者をいう。
- ・大会期間中の感染者、濃厚接触者、感染疑い者は入場禁止とする。
- ・大会参加日から参加2週間前までの期間の感染者は入場禁止とする。
- ・大会参加日から参加1週間前までの期間の濃厚接触者または体調不調者は、薬剤を服用しない状態で参加3日前までに体調不調が解消し、PCR検査で陰性が判定された場合のみ参加可能とする。

③感染者、濃厚接触者、感染疑い者の基準

ア. 感染者

- ・PCR検査（LAMP法、TMA法も含む。※以下同じ）、抗原定量検査または抗原定性検査で陽性と判定された者

イ. 濃厚接触者

- ・所轄保健所もしくは医療機関の判断による。実行委員会は、感染者が発生した場合に濃厚接触者を早期に特定するため、会場地自治体を所管する保健所もしくは医療機関に相談して、事前に濃厚接触者の範囲を例示する。（例. 試合相手、練習相手、車両同乗者、審判、他関係役員など）

ウ. 感染疑い者

- ・発熱（37.5℃以上）や風邪症状（咳、のどの痛み）、だるさや息苦しさ、味覚や嗅覚の異常など健康チェックシートのチェック項目該当者および会場内の医師・看護師により体調不調を認められた者を感染疑い者とする。ただし、健康チェックシートのチェック項目該当者であっても、次の①②に該当する者は除く。

①医師や保健所等により感染者である可能性が低いと診断された場合

②全チェック項目のうち「同居家族や身近な知人で感染が疑われる方」のみの該当者であり、かつ感染が疑われる同居家族や身近な知人が、PCR検査又は抗原定量検査（以下「PCR等検査」という。）により陰性と判定された場合もしくは医師により感染者である可能性が低いと診断された場合

③感染疑い者の発生日とは、健康チェックシートのチェック項目に該当があった日または医師（看護師）により体調不調を認められた日とする。（複数日の場合は大会に最も近い日）

3) 感染症発症者、濃厚接触者、感染疑い者となった場合の対応

- ・全ての大会参加者（選手、監督、コーチおよび大会関係者を言う、以下同じ）は、大会期間中および大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、開催地実行委員会に対して速やかに報告すること。
- ・全ての大会参加者は、医療機関や隔離施設、宿泊施設、自宅までの移動や輸送は各自（各学校）の責任で行うこと。
- ・特に貸切バス等を移動手段としているチームや開催県外からの大会参加者については、新型コロナウイルス感染症発症者が出た場合や濃厚接触者となった場合を想定し、大会に参加する前に、競技専門部や保護者、関係者等と事前に調整し、医療機関までの移動手段を必ず確保しておくこと。
- ・新型コロナウイルス感染症対策責任者は、参加する前に保護者やチーム関係者に対し、発症者が出た場合には、開催県における付添いや開催県までの迎えが必要となる場合があることを周知徹底しておくこと。

4) 大会中止や出場禁止措置等に伴う経費負担

- ・本基準に基づき大会中止または出場禁止となることに伴い、出場校（選手、監督ほかチーム関係者）や保護者、その他関係者が支払うPCR検査料、治療費、宿舍キャンセル料、交通費などの経費については、原則として出場校が負担するものとし、開催地実行委員会は負担しない。

※その他、令和4年度全国高等学校総合体育大会における「新型コロナウイルス感染者等への共通対応方針」第3版に準ずる。

8. 宿泊について

- 宿泊関連の業界団体が定める最新の『宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン』に従うこと

9. バス輸送に関して

- バス輸送に関しては、『貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン』に従うこと

10. その他

開催地住民に対し遠方来県者の影響によるコロナ感染、コロナ感染に係る不安な思いをさせる行為は避けなければならない。

そのため、来県者として明確にわかるようなあからさまな行為は、住民の不安につながる行為になるため自粛する必要がある。

これらを踏まえ、以下を推奨する。

- ・関係者は学校名の入った服装での外出を控えることの推奨

・外食する際、来県者とわかるような発言や飛沫感染を拡大させるような大きな言動を控えることの推奨

参考資料（1. 2. はインターネット検索で閲覧可能）

1. 日本スポーツ協会 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
2. 一般社団法人 日本ボクシング連盟 感染症と共存する新しい生活様式におけるボクシング競技の活動再開に関するガイドライン
3. 岩手県・群馬県・岡山県 高体連ボクシング専門部 競技会再開に関するガイドライン

以下※1から※4については令和4年度全国高等学校総合体育大会ホームページ（<https://www.koukousoutai.com/2022soutai/event/index.php?xpref=4#event408>）よりダウンロード可能

※5から※7については（公財）全国高等学校ボクシング専門部 HP（<https://koutairen-boxing.com/>）よりダウンロード可能

※1 健康チェックシート

※2 健康チェックシート提出用紙(参加承諾書確認含む)

※3 参加承諾書（参加者全員）

※4 大会来場者一覧

※5 マスク着用・ソーシャルディスタンス指示イラストの掲示

※6 リストバンド

※7 行動記録書の作成（感染が確認された場合に提出）